

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党  
横浜市議員団  
2010.05.12号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)  
電話 671-3032 FAX 641-7100  
E-mail: info@jcp-yokohama.com  
http://www.jcp-yokohama.com/

# 横浜市が新たな中期的計画

林市長は「市民目線」を強調。はたして市民ニーズに応えているのか？

横浜市では現在、概ね2025年頃までの「横浜市基本構想(長期ビジョン)」を具体化するための実施計画として5年間の「横浜市中期計画」に基づき施策を推進しています。現計画が今年度でその期間が終了するため、横浜市は4月1日、「新たな中期的計画の方向性」と称する基本方針を発表しました。

## ポイントは市民が成果を実感できる計画

この中期的計画のポイントは、①市民が成果を実感できる計画、②成長戦略への取組、③計画期間は2010～2013年度までの4年間の3つ。

計画のあり方として、市民が成果を実感、社会経済情勢の急激な変化に対応、現場が動きやすい計画の3つをあげ、現計画のようなどれだけ実施したか(アウトプット指標)に重点を置く計画から、どのような成果や効果があったか(アウトカム指標)を重視する計画への転換を検討していくとしています。

## 喫緊の課題に保育所対策、医療、教育

喫緊の課題に対する取組として、保育所待機児童の解消、産科・小児医療、救急医療体制の充実、きめ細かな教育の推進をあげています。また、主な政策課題として、高齢者の在宅サービスや介護施設の充実、障害者福祉の充実、格差社会問題への対応を冒頭に、15の課題解決に向けた方向性をあげています。

## 国保料引き下げや小児医療費無料化拡充はなし

しかし、日本共産党市議団が昨年実施した市民アンケート

トで要望の高かった介護保険料や国民健康保険料の引き下げ、小児医療費無料化の拡充や中学校給食の実施などは含まれていません。一方、経済活性化に向けて、横浜港のハブポート化や羽田空港の国際化を推進し、企業立地促進条例による市税の軽減措置や助成金で事業者支援を行います。



## 林市長:現場目線で計画づくりを

林市長は4月1日の記者会見で、保育、医療、高齢者等の福祉の現場を回ったが、「率直に申し上げてご不満の方が多い」と認め、予算を付けて様々な施策を行っているのに市民の実感につながらないのは「施策が単一的といいますか、どこかに偏っていて、もう少しきめ細かさがないと、生活の現場の近くで感じられない」と述べ、現場目線で計画をつくっていくことを認めています。

## みなさんの意見・感想を送りましょう

市は「中期的計画の方向性」についての意見・感想と、政策提案を募集しています。また、市職員が直接うかがって説明する「出前説明会」を7月まで実施します。

市は、市民意見を反映させ、8月下旬に計画素案、11月下旬に計画原案、12月頃計画を策定し、本年度から実施する予定です。

議会では、計画原案がまとまった段階で議会全員協議会を開き、計画案についての検討する予定です。



「横浜市中期的計画」への意見・感想は、FAX(045-663-4613)、郵送(〒231-0017 横浜市中区港町1-1 横浜市都市経営局政策課計画担当宛て)、電子メール(ts-newplan@city.yokohama.jp)で受け付けています。政策提案については、横浜市のホームページ(「横浜市中期的計画」で検索)をご覧ください。